

横手体育館及び横手市民会館整備基本計画（素案）【概要版】

横手体育館（築43年）と横手市民会館（築53年）は、老朽化が進むとともに、それぞれ施設が特有の課題を抱えています。

横手市では、今後も多くの利用が見込まれる施設を適切に建て替え、市民サービスの維持・向上と、安全・安心な利用環境を整えるべく検討を進めています。

計画にあたっては課題解決と合わせ、高い市民ニーズに支障が生じないように、建て替え中も現在の施設を使い続けることができるよう配慮しています。

これまでの経過（令和2年度以降）

- 令和2年
 - 6月 横手市公共施設再配置に関する市民検討委員会を設置
 - 9月 同委員会が市長に提言書を提出
【提言の内容】
 - ・横手体育館と横手市民会館を令和7年度までに建替え
 - ・大鳥公園プールを廃止
- 令和3年
 - 3月 横手体育館及び横手市民会館整備基本構想策定
 - 6月 横手体育館及び横手市民会館整備基本計画策定委員会を設置
(会議を6回開催、ヒアリング等を実施)
- 令和4年
 - 1月 基本計画素案作成
パブリックコメント開始

概算事業費

区分	想定金額	内容
横手体育館整備	72.5億円	・地質調査等 ・設計、監理 ・建築
横手市民会館整備	49.6億円	・什器備品 ・外構 ※社会情勢等による変動あり
合計	122.1億円	

※条里地区の敷地内既存施設の解体、造成、外構工事が別に必要（約7.2億円、R4～R9年度）

従来方式における概算スケジュール（共通）

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度以降
設計	基本・実施設計		監理		
工事		造成工事	建設工事		維持管理
※条里	敷地内既存施設の解体設計、解体、造成、外構工事				

【横手体育館】令和8年度オープン予定

1 コンセプトと目指す姿（課題の解決）

- ①市民が日常的にスポーツ活動や健康づくりに親しむことができる体育館
 - 団体に所属していない市民でも使いやすい運営・利用環境
 - 小規模の大会やイベントに対応できるスペース
 - 安全な駐車場の確保
 - 誰もが使いやすい設備や動線、感染症対策、快適な空調設備
 - 周辺施設との相乗効果
- ②様々な大会やイベントが開催されスポーツや文化の交流拠点となる体育館
 - 施設全体でバスケットボールコート4面を確保
 - プロスポーツを5,000人が観戦できる環境
 - スポーツ以外にも多様なイベントや行事等が開催できる場
- ③災害時の防災拠点となる体育館
 - 通常災害時に対応した安全・安心な指定避難所
 - 大規模災害時に備えた広域防災拠点

2 主な機能【想定規模 12,000㎡程度】

- メインアリーナ…約2,900㎡（42m×69m、現在36m×42m）
 - ・バスケットボール3面、バレーボール3面、バドミントン12面以上、マーチングなど
 - ・観客席：2階固定席として約2,000席（現在336席）
 - ※1階と合わせて5,000人がプロスポーツを観戦可能
- サブアリーナ…約1,000㎡（42m×25m、現在28m×16m）
 - ・バスケットボール1面、バレーボール1面など
 - ・観客席：2階に200席程度確保し単独で小規模な大会等に対応
- その他、主な機能
ランニングコース、トレーニングルーム、備蓄倉庫など

3 整備予定地【赤坂総合公園内（第3駐車場）】

- (拠点性) スポーツ施設や観光施設、商業施設が集積
- (交通性) 市内外からのアクセスに優れている
- (防災性) 防災拠点機能の集積地で、さらに機能が向上
- (経済性) 市有地で新たな用地取得が不要、交付金等の活用



【駐車場】約1,000台（敷地内350台、園内隣接地や既存駐車場含む）

【横手市民会館】令和8年度オープン予定

1 コンセプトと目指す姿（課題の解決）

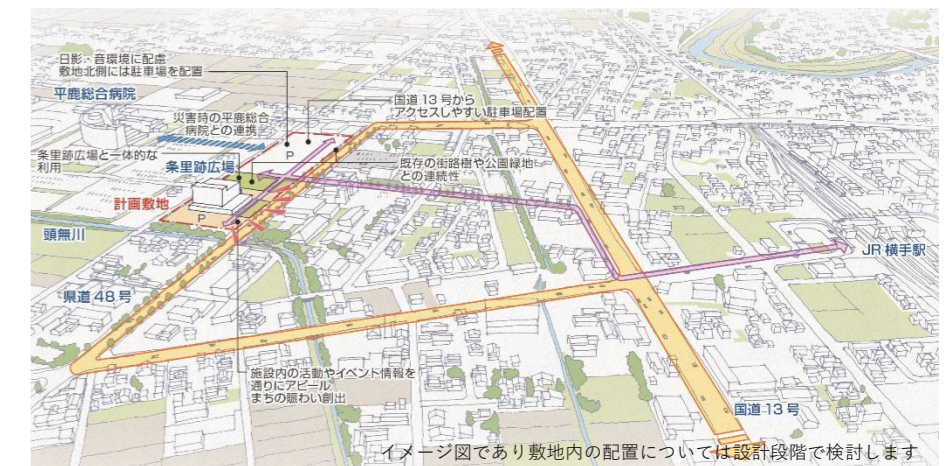
- ①市民が集い、市民が主役となる舞台
 - 気軽に集える市民の居場所
 - 様々な情報発信の機能
 - 舞台袖を含めて十分な舞台の大きさを確保
 - ゆったりとくつろげるスペース
 - 観客席数の拡充
- ②機能性を重視した質の高いホール
 - 多様な演目に対応できる環境
 - 楽屋やバックヤードの充実
 - 小ホールとしても利用可能な多目的室（リハーサル室）
- ③シンプルで誰もが利用しやすく市民に愛される施設
 - 誰もが使いやすい設備や動線、感染症対策、快適な空調設備
 - 通常災害時に対応した安全・安心な指定避難所
 - シンプルな動線や配置
 - 良好なアクセスと十分な駐車場

2 主な機能【想定規模 6,000㎡程度】

- 大ホール
 - ・観客席：1,250～1,300席程度（現在928席）
 - ※複層化し、想定人数によっては1階のみで対応するなど利用形態に応じた活用
 - ・舞台：舞台袖を含めて十分な大きさを確保（現在10m×32m）
- リハーサル室兼小ホール
 - ・多目的に利用できるスペース
 - ・200～300人程度を収容
- その他、主な機能
ホワイエ、楽屋、練習室、会議室など

3 整備予定地【条里】

- (拠点性) 公共施設や商業施設等の集積地
- (交通性) 横手駅からも徒歩圏内で公共交通の利便性も高い
- (防災性) 新施設の整備により、まちなかの避難所機能が向上
- (経済性) 一部借地について計画的に取得、交付金等の活用



【駐車場】敷地内約400台、現横手体育館駐車場約300台